

認定こども園善隣園 本園 自己評価総括表 2024年度

	1.大変そう思う	2. そう思う	3. 少し改善すべき	4. 改善が必要
【保育・教育目標について】 1. 保育・教育目標の具現化にむけて、園児一人ひとりの発達を踏まえた目標（年間・月案・週案・個別を設定しているか。	2	12	3	2
【保育・教育目標について】 2. 目標は、園の保育方針を踏まえたものになっているか	4	14	1	0
【保育・教育目標について】 3. 目標は、社会や保護者の願いを反映しているか。	2	13	3	0
【保育・教育目標について】 4. 目標は、昨年度の反省をいかしているか。	3	13	3	0
【保育・教育目標について】 5. 目標は、全職員で検討し、共有を図っている。	8	8	3	0
【指導について】 1. 指導計画は、園児の成長 発達を理解し、それに即して作成している。	7	9	2	0
【指導について】 2. 認定こども園保育・教育要領に基づく指導内容、環境構成、配慮事項になっているか。	6	11	2	0
【指導について】 3. 環境構成を意識し、保育に工夫をしている。	1	12	6	0
【指導について】 4. 豊かに経験するために、教材や教具を活用している。	3	8	7	1
【指導について】 5. 指導計画の評価（ふりかえり）を基に、指導の改善を行っている。	3	9	6	0
【行事について】 1. 行事が、一年の指導計画の中に行事を入れ、経験等が一連の流れの中にくみこまれている。	7	10	2	0
【行事について】 2. 行事のねらい 目標を達成するために、計画的に保育を実施している。	7	10	2	0
【行事について】 3. 一人ひとりの興味関心や発達の状況を理解し、園児の自主性を活かした活動にしている。	6	11	2	0
【行事について】 4. 計画・実施・ふりかえり・改善をし、職員間での共有をしている。	5	9	5	0
【行事について】 5. 保護者の願いや意見をとりいれている	2	15	2	0
【経営・組織】 1. 職員の配置は、適材適所である。	2	15	2	0
【経営・組織】 2. 園内の係や仕事の分担や割り当ては、適切である。	3	13	3	0
【経営・組織】 3. 各種会議を適切かつ効率的に進めている。	3	13	4	0
【経営・組織】 4. 職員が各々の立場を理解し、協力や助言を惜しむことなくして、園の運営に積極的にかかわっている。	3	13	4	0
【学級運営】 1. チーム・クラス・グループ目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定している。	4	13	2	0
【学級運営】 2. チーム・クラス・グループ目標は、それぞれの集団の実態に即して設定している。	7	10	2	0
【学級運営】 ねらいや目標を共有し、共通理解の基でチーム保育を行っている。	8	9	2	0
【学級運営】 記録を集積し、次年度に活かせるように、振り返りをしている。	3	10	6	0
【保健・安全指導】 1. 避難訓練を計画に基づいて実施している。	12	8	0	0
【保健・安全指導】 2. 園児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	7	9	4	0
【研究・研修】 1. 園内研修の計画・運営は適切である。	10	10	0	0
【研究・研修】 2. 研修・研究の成果が日常の保育や行事にいかされている。	2	11	7	0
【外部研修 研究会】 3. 外部研修会、講習会への参加機会を与えられている。	12	5	2	0

【外部研修 研究会】 4. 各種研修会等の内容を園内に還元している。	2	12	6	0
【情報について】 園児及び保護者の個人情報を適正に取り扱っている	14	5	0	0
【情報について】 出勤簿 休暇簿等の表簿の提出期限 提出方法を決められた形で処理している。	9	7	2	1
【施設・設備】 園舎 園庭の安全点検を計画的に行っている。	6	6	7	0
【施設 設備】 遊具 用具 教材等を、使いやすく整理整頓している。	0	7	9	3
【施設 設備】 不審者等に対応する配慮を施している。	5	13	2	0
【経理】 各種会計業務をてき適正におこなっている。	7	10	2	0
【地域交流】 地域の人との交流の場を持ち、双方にとっての豊かな経験となるよう計画している。	10	8	2	0
【地域交流】 園が地域にひらかれ、様々な年齢 国籍の人が立ち寄る事の出来る機会を提供している。	10	8	2	0
【子育て支援の推進】 園庭開放 開放保育を通じて、地域の子育て中の家族にひらいている。	15	5	0	0
【子育て支援の推進】 預かり保育を計画的に行っている	10	8	2	0
【子育て支援の推進】 子育て相談には、職員が積極的にかかわり、充実している。	3	11	4	0
【子育て支援の推進】 医療機関 児童相談所 保健センター等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供している。	10	6	3	1
【情報の発信】 園の情報をホームページ キッズビューを通して発信している。	8	8	4	0

認定こども園善隣園 分園 自己評価総括表 2024年度

	1.大変そう思う	2. そう思う	3. 少し改善すべき	4. 改善が必要
【保育・教育目標について】 1. 保育・教育目標の具現化にむけて、園児一人ひとりの発達を踏まえた目標（年間・月案・週案・個別を設定しているか。	4	2	2	0
【保育・教育目標について】 2. 目標は、園の保育方針を踏まえたものになっているか	5	1	2	0
【保育・教育目標について】 3. 目標は、社会や保護者の願いを反映しているか。	3	5	0	0
【保育・教育目標について】 4. 目標は、昨年度の反省をいかしているか。	5	2	1	0
【保育・教育目標について】 5. 目標は、全職員で検討し、共有を図っている。	5	3	0	0
【指導について】 1. 指導計画は、園児の成長 発達を理解し、それに即して作成している。	6	1	1	0
【指導について】 2. 認定こども園保育・教育要領に基づく指導内容、環境構成、配慮事項になっているか。	3	3	2	0
【指導について】 3. 環境構成を意識し、保育に工夫をしている。	4	3	1	0
【指導について】 4. 豊かに経験するために、教材や教具を活用している。	1	4	3	0
【指導について】 5. 指導計画の評価（ふりかえり）を基に、指導の改善を行っている。	4	2	2	0
【行事について】 1. 行事が、一年の指導計画の中に行事を入れ、経験等が一連の流れの中にくみこまれている。	4	4	0	0
【行事について】 2. 行事のねらい 目標を達成するために、計画的に保育を実施している。	5	3	0	0
【行事について】 3. 一人ひとりの興味関心や発達の状況を理解し、園児の自主性を活かした活動にしている。	3	4	1	0
【行事について】 4. 計画・実施・ふりかえり・改善をし、職員間での共有をしている。	5	3	0	0
【行事について】 5. 保護者の願いや意見を取りいれている	1	6	1	0
【経営・組織】 1. 職員の配置は、適材適所である。	0	5	3	0
【経営・組織】 2. 園内の係や仕事の分担や割り当ては、適切である。	1	4	3	0
【経営・組織】 3. 各種会議を適切かつ効率的に進めている。	1	7	0	0
【経営・組織】 4. 職員が各々の立場を理解し、協力や助言を惜しむことなくして、園の運営に積極的にかかわっている。	4	2	1	0
【学級運営】 1. チーム・クラス・グループ目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定している。	3	4	1	0
【学級運営】 2. チーム・クラス・グループ目標は、それぞれの集団の実態に即して設定している。	4	3	1	0
【学級運営】 ねらいや目標を共有し、共通理解の基でチーム保育を行っている。	3	4	1	0

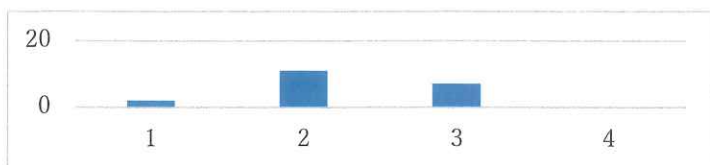
【学級運営】 記録を集積し、次年度に活かせるように、振り返りをしている。	5	2	1	0
【保健・安全指導】 1. 避難訓練を計画に基づいて実施している。	6	1	1	0
【保健・安全指導】 2. 園児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	3	4	1	0
【研究・研修】 1. 園内研修の計画・運営は適切である。	3	4	1	0
【研究・研修】 2. 研修・研究の成果が日常の保育や行事にいかされている。	2	5	2	0
【外部研修 研究会】 3. 外部研修会、講習会への参加機会を与えられている。	6	1	1	0
【外部研修 研究会】 4. 各種研修会等の内容を園内に還元している。	1	6	1	0
【情報について】 園児及び保護者の個人情報を適正に取り扱っている	6	2	0	0
【情報について】 出勤簿 休暇簿等の表簿の提出期限 提出方法を決められた形で処理している。	4	3	1	0
【施設・設備】 園舎 園庭の安全点検を計画的に行っている。	1	5	2	0
【施設 設備】 遊具 用具 教材等を、使いやすく整理整頓している。	6	1	1	0
【施設 設備】 不審者等に対応する配慮を施している。	5	2	1	0
【経理】 各種会計業務をてき適正におこなっている。	6	2	0	0
【地域交流】 地域の人との交流の場を持ち、双方にとっての豊かな経験となるよう計画している。	6	2	0	0
【地域交流】 園が地域にひらかれ、様々な年齢 国籍の人が立ち寄る事の出来る機会を提供している。	4	4	0	0
【子育て支援の推進】 園庭開放 開放保育を通じて、地域の子育て中の家族にひらいている。	4	3	1	0
【子育て支援の推進】 預かり保育を計画的に行っている	1	2	0	2
【子育て支援の推進】 子育て相談には、職員が積極的にかかわり、充実している。	4	3	1	0
【子育て支援の推進】 医療機関 児童相談所 保健センター等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供している。	2	6	1	0
【情報の発信】 園の情報をホームページ キッズビューを通して発信している。	6	1	1	0

2024年度 自己評価からの課題の改善 【研修編】

善隣園研修メンバー：日下、益子、川名、SVor 大宮園長

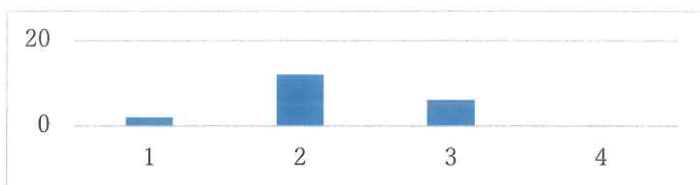
【外部研修 研究会】について

2.研修・研究の成果が日常の保育や行事にいかされている。



2名 10% 11名 55% 7名 35% 0名 0%

4.各種研修会等の内容を園内に還元している。



2名 10% 12名 60% 6名 30% 0名 0%

(善隣園本園自己評価より)

目的 上記2点の項目について今後どのようにしていくかを考え合う。

現在行っている研修記録の回覧以外に日常の保育や行事にいかされ、

各種研修会等の内容が還元されていると感じられるように改善していく。

課題 研修記録の回覧—各自の作業となるため、共有、共通理解したという意識にはならない

【今後に向けて】

1. 受講前の目標の設定

研修前にその研修の目的を受講者本人が明らかにし推薦者の意向と相違ないことを確認し受講前に受講の目標を設定して受講に向かうようにする。研修報告書に目標記入欄を設けた。

何を学び持ち帰るのか明確にし、園で活かすことを見つける。

2. 受講後の職員間での理解・周知

研修報告書の改善。「研修を受けての保育への提案(保育に活かせることや一番大事だと思ったこと)」を報告書の最下段に追加し、報告書回覧後その部分を切り取り、保育のチームやプロジェクトチームに託し、見える化が出来るよう仕組みを作った。*研修報告書 別紙参照

園の課題と結び付け、受講した研修が何に活かせるのか、目的意識を持ち研修報告をする。

3. 職場での活用

前述の「保育への提案」を保育、教育、生活、遊びの中で取り入れ活かすためにチーム me、クラス me、PT、職員会で議題に挙げ話し合う。期ごとや年度末に振り返りを実施する。

園に還元したと実感できることを目指す。

以上、3点を自己評価の課題の改善策として2024年12月より実施する。

2024 (R6) 年度 自己評価からの課題改善 【業務負担軽減】

2月20日開催の職員会議で、6月に行った園の自己評価の振返りの中で評価の低かった【経営・組織】園内の係や仕事の分担や割り当ては、適切である。の項目についての改善を考えていく。

- 【目的】 行事の開催の仕方の検討を行い業務の軽減を目指す。
- 【課題】 分園は職員の人数の関係で一人が複数の担当を担うことが多い。
- 【方法】 ①職員会議前にアンケートを取り職員がどのような所に負担を感じていたかの洗い出しを行う
- ②負担軽減のためにはどのようにすれば改善につながるかを職員会議の中で考える

- 1 アンケート結果をもとに負担軽減のためにはどのようにすれば改善につながるか下記のことを行う。
- ・ 夕涼み会、親子遠足、クリスマス会、おわかれ会について、本園と合同で開催した場合のメリット・デメリットを出し合う。
 - ・ 各行事の行事計画書内にある作業の目安時間を記入していく → 別紙参照
 - 書き出した意味としては、職員の異動等あった時にも時間の目安が把握しやすいと思い実施。

各行事合同開催した場合のメリット・デメリット

行事	メリット	デメリット
夕涼み会	・ 遊びのコーナーをすべて用意しなくてよいことで負担が減る ・ 家庭が早い時期に本園を知れる ・ 本園は園庭があるので、分園の環境よりも制限がかかりにくくよい ・ 人数がいることでやれることが増える ・ 親子で楽しめる ・ 家庭同士をつなげるが目標にしやすい	・ 参加の人数が多くなることで顔を合わせにくさがあるかもしれない ・ 顔が分からない（本園の保護者もいるので） ・ 職員のミーティング等の日程調整が大変
親子遠足	・ 掲示などの係の作り物が減る	・ 人数が多くなるため場所が限られてしまう ・ 職員のミーティング等の日程調整が大変
クリスマス会	・ 本園と開催すると職員の人数も増えるので子どもにつける保育者が増える	・ 会の開催時間が長くなってしまう ・ 職員のミーティング等の日程調整が大変
おわかれ会	・ 本園と開催すると職員の人数も増えるので子どもにつける保育者が増える	・ 会の開催時間が長くなってしまう ・ 職員のミーティング等の日程調整が大変

- 【今後に向けて】
- 夕涼み会、親子遠足は、本園と合同開催も可能。クリスマス会、おわかれ会は、別々の開催の方が良い。
- 次年度はそのことも踏まえて開催について考えていく。
- また、各行事の作業時間の目安時間も作成をしたので活用していく。